

千葉県社保協通信

2023年度 No.7 2023年 11月 4日号

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉センタービル 3F

TEL : 043-225-6790 FAX : 043-221-0138 Eメール syaho2022@themis.ocn.ne.jp

戦争する国づくりやめて いまこそ社会保障の拡充を！！

中央社保協 署名提出 院内集会

2日、中央社会保障推進協議会は「軍事費の拡大ではなく社会保障の拡充を求める」国会請願署名約10万筆を提出。衆議院第2議員会館での集会には千葉県社保協から千葉土建、流山社保協、県社保協から7人が参加。33名の紹介議員(共産・社民・立民・沖縄の風・れいわ新選組他)の内、集会に参加した議員に署名を手渡しました。(写真/右上)

請願項目は、①軍事費の拡大ではなく社会保障に係る国民負担を軽減し、医療・介護・福祉・年金・教育・子育て・生活保護などの社会保障を拡充すること ②大企業と富裕層への課税を強化し、所得再分配を機能させて格差と貧困をなくすこと。

住江憲勇代表委員は、開会あいさつで社会保障費抑制の一方で軍事費を格段に伸長させる岸田政権を厳しく批判。日本共産党の田村貴昭、宮本徹、



本村伸子の各衆院議員、伊藤岳、山添拓、「沖縄の風」高良鉄美の各参院議員が駆けつけ、国会情勢を報告し、参加者を激励しました。

つづくフロアからの発言では、千葉土建の栗原厚さんが千葉土建の歴史に触れつつ、「戦争しない国づくり、暮らし続けられる地域づくりは住民多数の切実な要求である」。今回の署名を「家族ぐるみの運動」と位置づけ、組織内外に訴えて1万875人分を集めたことを報告。県社保協の自治体要請キャラバンの取り組みに触れ「子ども医療費助成」や「給食費無償化」制度の前進に確信をもって「県内を網の目のように組織する組合の特長を生かし、組合員と家族、住民の要求を背景に地域を変え、国を動かしていきたい」と決意をのべました。

閉会にあたり、窪田光代表委員(東京社保協事務局長)は「国家予算が軍事中心に変質した。国民の生命と生活を守る予算の拡充でこそ経済が回る。署名を広げることは世論を広げること。多くの国民に賛同を広げ、国政の転換を」と訴えました。



集会後、志位和夫衆院議員の部屋を訪ねて懇談。

岸田首相に言いたい！！

1回だけの所得税減税より
買い物のたびにかかる消費税引き下げて！！

県社保協・憲法共同センター・消費税連絡会・共同宣伝

10月24日(火)12時~13時、お昼休みの外出や買い物で賑わう千葉駅東口そごう側通路にて共同宣伝を行いました。土建、新婦人、民商、労連、民医連、保険医協会、共産党、県社保協8団体17人が参加。「アメリカにばかりいい顔している岸田首相が嫌だ！」「所得税より消費税減税でしょ！」「保険証廃止は絶対ダメ！」などの声と共に、●大軍拡・

大増税NO=6筆 ●消費税・インボイス=6筆
●保険証廃止は中止を=12筆 ●介護保険改善・介護従事者の処遇改善=3筆の署名が寄せられました。保険証廃止問題のシール投票は保険証廃止「反対」14対「賛成」2でした。

